

平成29年度 日向市立日知屋小学校 学校評価書 <学校経営全体>

《学校の教育目標》
 ひろい心でやさしい子、ちえをみがきがんばる子、やりぬく強い体の子
 〈学校経営基本方針〉
 授業を中心とした日々の優れた指導を行うことにより、意欲をもって学び、確かな学力を身に付け、臆することなく輝く児童の育成を実現する。

4段階評価 4・・・大変よい 3・・・概ねよい 2・・・もう少し改善を要する 1・・・大いに改善を要する

区分	項目	推進の場や内容	自己評価	関係者評価	考察	感想・意見
重点目標	確かな学力	学校の全教育活動、家庭教育	2.7	2.7	<ul style="list-style-type: none"> 不審者侵入や津波、地震、火災等を想定した訓練を計画的に実施した。今後も危機意識の醸成や現実的に役立つ訓練になるように努める。また、危機管理マニュアルの見直しや安全点検を生かした即時の改善を継続する。 校内指導体制や専門機関の活用により、特別支援教育の充実を図ってきた。今後、さらに、特別支援教育に対する啓発を積極的に推進する必要がある。 参観日の学級懇談の参加率がやや低い。保護者への啓発とともに、魅力的な懇談会の計画と工夫をしていく必要がある。オープンスクールや音楽発表会を広く地域にも公開して実施した。また、学校行事や各学年の取組をホームページで紹介したり、各種たよりを定期的に発行したりした。今後とも、学校、家庭、地域の連携をさらに進めていく。 富島中学校区の4つの学校と連携し、研究会や意見発表会、ノーメディアデー等の取組を行った。また、園児を招いた生活科のおもちや祭りを実施した。入学後スムーズな学校生活が送れるように、幼保小連絡協議会を年間2回設定し連携を深めていく。 服務研修を行うとともに、職員連絡会において、報道等を活用して周知と確認を行い、教育公務員としてのコンプライアンス意識を高め続けることに努めた。継続して今後も、コンプライアンス意識を高めていく必要がある。 県の「分かる、できるまで教えよう 授業改善の4つのポイント」をもとに、日知屋小学校授業スタンダードの確立を行い、授業力向上に日々努めた。また、知徳体の各校務分掌部の部長を中心に、これまでの取組がより児童のことを考えた取組となるよう見直しを図る。また、部をこえて職員の協力も行ってきた、今後も継続する。 	<ul style="list-style-type: none"> 日知屋小学校児童のことを地域の方にもっと知ってもらいたい。また、児童も地域の方のことをもっと知ってほしい。 地域の方に、自分たちの地域の子もだという意識をもってもらい積極的に関わってもらおうようにするとよい。地域の方と児童とが接触する機会が少なくなっている。 地区では、学校のホームページを見ながら地区の行事の計画等を考えていくことが多い。今後も、ホームページが活用されていることを意識して充実していってほしい。 富島中学校区での各小中学校との連携によって、子どもたちの豊かな成長を図ってほしい。富島中の生徒は、道ですれちがう方に、いったん立ち止まって挨拶をしていて素晴らしい。小学校でもこのことを取り入れ、よりよく挨拶ができる児童にしてほしい。 よい挨拶など、上学年がすると低学年もできるようにしていく様子が見られている。
	豊かな心	学校の全教育活動、家庭教育、地域住民としての関わり	2.3	2.5		
	健やかな体	学校の全教育活動、家庭教育、少年団等	2.5	2.8		
基盤	安全管理、防災体制、危機意識の醸成	非常時訓練や避難訓練の充実、危機管理マニュアルの見直しや活用、安心メールの効果的活用、教職員と児童の危機管理意識醸成、家庭や地域からの情報提供	3	3		
	合理的配慮に基づく、温かい見守りと交流を生かした特別支援教育の充実	交流を生かした指導の充実、特別支援教育支援員の配置を生かした温かい見守り、関係機関の専門的指導力を生かした指導の充実	3	4		
	保護者や地域の皆様との連携推進	「学校評価」システム（日知屋小地域ふれあいネットワーク会議）活用による学校、家庭、地域の共通理解や共通実践の推進、各種行事の案内、学校・学級・生徒指導・保健室便り、ホームページ	2	2		
	幼保小中の一貫性のある教育の理解と共通実践できる内容の実践	富島中学校区ブロック研究会の充実と活用、学校保健委員会での取組を生かしたノーメディアデー（幼保小中連携）	3	3		
	服務規律遵守及びコンプライアンス意識向上	教育公務員としての責任感、服務研修会の実施	2	2		
	教職員のキャリアアップと健康保持	職員研修の充実、OJT推進、職場での協働や支え合い	3	3		